

駿河台大学 中・長期財政計画（抜粋）

1. 中・長期財政計画の目的

本学の2018年度以降の中期的な課題は、「駿河台大学グランドデザイン2021」に示された目標である入学定員・収容定員の確保、中途退学率の減少、高い就職率の維持である。この目標達成のため必要となる財政基盤を構築し、更に本学の発展に資する長期的な指針を示し財政の健全化を図るため、中・長期の財政計画を策定する。

2. 本学の財務状況と将来見通し

本学の財務状況は、流動比率の高さにあるように短期的な支払能力には問題ないが、積立率が50%を下回っており将来の設備更新等に向けた資産の保有状況に課題がある。また、事業活動収支差額比率がマイナスで推移しているとおりに、事業活動収支における支出超過の状況から脱出しえない限り経営基盤の安定は望めない。

2017年度・2018年度と学部入学定員を確保しているものの、将来的には学生募集は益々厳しさを増すことが想定されることから、短期的な改善で楽観視することなく、将来を見据えて安定的な財政基盤を構築するための目標設定を行う。

3. 財政基盤の確立に向けた基本方針

財政基盤の確立に向けた財務比率面からの中長期の基本方針として、2022年度までに次の4項目を達成することを目標とする。

- (1) 事業活動収支差額比率をプラスに転じ、5%程度まで改善させる。
- (2) 人件費比率は、50%を目標とする。
- (3) 教育研究経費比率は、35%以上を目標とする。
- (4) 積立率は、60%まで改善させる。更に2027年度には80%まで改善させる。

4. 財政基盤の確立に向けた取り組み（中期目標）

(1) 収入増加に向けた取り組み

事業活動収支差額比率改善のため、以下の収入増加策を中心に取り組む。

① 補助金の獲得

特に私立大学等改革総合支援事業に代表される教学改革と連動した補助金の獲得を推進する。

② 寄付金の募集

寄付募集に対する認知と意識を高め、教育の質向上及び学生支援に供する寄付金の拡大をめざす。また、募集のための新たな企画を検討し、寄付金獲得を推進する。

③ 学費の改正

経済的困窮者への奨学金なども考慮しつつ、教育環境の更なる向上を目指し、適切な学費改正について検討を開始する。

④その他

外部団体等の施設利用他、施設設備を有効に活用した収入策を提起する。

(2) 人事改革に向けた取り組み

教職員の理解と協力を得ながら以下のとおり適切な改革を講じる。

① 教育の質の確保と教員人件費とのバランスを図る。

② 事務分掌による事務職員の業務状況を分析し、部署における業務の効率化を図る。

(3) 適切な予算編成及び予算配分に向けた取り組み

教育研究経費比率 35%以上を安定的に維持できるよう管理経費をできる限り抑制する。予算の肥大化を抑制しつつも教育の質的向上に資する予算編成を行う。

① 施設設備の計画的更新

施設設備の更新に係る予算は、一定の予算枠を設け、その中で計画的更新を進めていく。施設設備の維持・耐用を図り、更には光熱水費の削減にも供する更新計画とする。

② 予算編成と適切な予算配分

財政基盤の確立に向けた適切な予算配分を行う。

(4) 点検及び見直し

毎年度決算ごとに進捗・達成状況を確認・点検し、必要に応じた見直しを図る。

以上